

<報道関係者各位>

2026 年 9 月 29 日

モルテン、『Basketball Girls Clinic ～未来へつなぐパス～』 でドリームボールリレーを実施



株式会社モルテン（本社：広島市西区、代表取締役社長：民秋清史、以下モルテン）は、2026 年 8 月 19 日(水)、一般社団法人国立代々木競技場世界遺産登録推進協議会が主催する、国立代々木競技場第二体育館で開催された『Basketball Girls Clinic ～未来へつなぐパス～』において、『ドリームボールリレー』を実施しました。

『ドリームボールリレー』は、『Keep Playing（好きなことを続けよう。スポーツを続けよう）』というメッセージのもと、子どもたちにバスケットボールの楽しさや、競技を続けることの大切さを伝えることを目的に、Wリーグとモルテンが2022年から実施している取り組みで、モルテンが推進する『Keep Playing』の一環として展開しています。

スポーツと建築を通じて、未来へ受け継ぐ価値を学ぶ

1964 年東京オリンピックの象徴として建設された国立代々木競技場は、世界的建築家・丹下健三氏によって設計された、日本を代表する近現代建築の一つです。現在、その歴史的・文化的価値を未来へ継承するため、世界遺産登録に向けた取り組みが進められています。

イベントの会場となった国立代々木競技場第二体育館は、オリンピックをはじめ、バスケットボールの数々の名勝負が繰り広げられてきた場所であり、『バスケットボールの聖地』として多くの選手やファンに親しまれています。

午前中に行われた見学会とワークショップでは、建築家の豊川斎赫氏による解説のもと、参加者が競技場の特徴や、1964年東京オリンピックから受け継がれてきた歴史について学びました。実際に世界的な建築空間に触れながら、建築物を次の世代に残していく意義や、オリンピックレガシーについて理解を深める機会となりました。

オリンピック出場経験を持つWリーグOGの3名が直接指導

午後のバスケットボールクリニックでは、Wリーグで活躍し、オリンピック出場経験を持つ宮崎早織さん、三好南穂さん、間宮佑圭さんの3名が講師を務めました。

参加した子どもたちは、講師陣からバスケットボールの基本技術や実戦的な動きを直接学び、仲間と声を掛け合いながら、さまざまな練習に取り組みました。

クリニックを通じて、技術を身につけることだけでなく、プレーする楽しさやマインドセット、挑戦を続けることの大切さが伝えられました。

世界の舞台でプレーしてきた講師陣との交流は、参加した子どもたちにとって、自身の将来や夢について考える貴重な機会となりました。



W リーグで使用されたボールを未来のプレーヤーへ

クリニックの最後には、『ドリームボールリレー』として、W リーグの各チームが実際に使用した練習球の寄贈式を行いました。

モルテンは、W リーグのオフィシャルスポンサーとして、毎シーズン公式試合球を提供しています。今回寄贈したボールは、W リーグの選手たちがシーズン中の練習で使用し、一年間の汗や涙、さまざまな思いが込められたものです。

寄贈式では、講師を務めた宮崎さん、三好さん、間宮さんから、参加した子どもたちへボールが手渡されました。W リーグで活躍してきた 3 名から未来を担う女子選手へボールが受け渡されることで、本イベントのタイトルである「未来へつなぐパス」を象徴する時間となりました。

モルテンは、今回寄贈したボールが、子どもたちの今後の練習や活動の中で使用され、バスケットボールを楽しみ、続けていくきっかけとなることを願っています。



■ Keep Playing について

日本における女性スポーツの競技登録者数は、高校卒業後に大きく減少する傾向があります。

モルテンは、競技レベルやライフステージにかかわらず、スポーツの持つ魅力に惹きつけられ、仲間と出会い、プレーを楽しみ、スポーツを続けてほしいと考えています。

『Keep Playing』のメッセージを、スポーツをする人、みる人、支える人へ届けることで、スポーツへの興味や関心を高め、誰もがスポーツを継続しやすい環境づくりにつなげていくことを目指しています。

2022年3月にWリーグとの取り組みを開始し、同年12月からはWリーグ、WEリーグ、JHLとの競技横断型の活動を展開しています。

『Keep Playing』特設ページ

<https://shop.moltensports.jp/pages/keepplaying>

※2021年のバスケットボール、サッカー、ハンドボールの女性競技登録者数を参照。高校生から18歳以上になると、競技登録者数はバスケットボールで73%、サッカーで36%、ハンドボールで82%減少。

■ イベント開催概要

<イベント名>

Basketball Girls Clinic ～未来へつなぐパス～

—国立代々木競技場世界遺産登録推進協議会キッズプロジェクト—

<開催日時>

2026年8月19日（水）11：00～14：30

<会場>

国立代々木競技場 第二体育館

東京都渋谷区神南2丁目1番1号

<対象>

小学3年生から6年生までの女子選手

<参加人数>

40名

<プログラム>

11：00～12：00 国立代々木競技場見学会・ワークショップ

12：00～13：00 昼食休憩

13：00～14：30 バスケットボールクリニック、ドリームボールリレー

<見学会・ワークショップ解説>

豊川斎赫氏

<バスケットボールクリニック講師>

宮崎早織さん

三好南穂さん

間宮佑圭さん

※いずれも W リーグ OG、オリンピック出場経験者

<主催>

一般社団法人国立代々木競技場世界遺産登録推進協議会

<協力>

公益財団法人日本バスケットボール協会

一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ

渋谷区バスケットボール協会

株式会社モルテン

■ モルテン スポーツ用品事業について

モルテンのスポーツ用品事業は、1958年よりバスケットボール、ハンドボール、サッカー、バレーボールなど競技用ボールを始めとするスポーツ用品の製造と販売を行い、グローバル・スタンダードとしての品質を高め続けています。

プレーヤーだけでなく、スポーツに関わる人たち（コーチ、管理者、保護者）が「スポーツでしか感じられない本物の感情を引き出すために、これ以上ない最適なプロダクトやこれ以上ない最適な環境をつくり、スポーツがいつも人生のそばにある世界を実現する。」ことを目指しています。

モルテン スポーツ用品事業公式サイト：<https://www.molten.co.jp/sports/jp/>

モルテン 公式オンラインショップ：<https://shop.moltensports.jp/>

■ モルテン スポーツ用品事業の社会課題に関する取り組みについて

私たちは社会課題を製品やサービスで解決するソーシャルブランドになることを目指し、事業活動や製品づくりを行っています。バスケットボールの普及と強化を目指すバスケブランド「molten B+ (ビー・プラス)」や、子どもたちの経験格差を埋め、教育キットとしても優れている空気のいらないサッカーボール「MY FOOTBALL KIT」、バスケットボールを通じて子どもと大人の体験格差の解消に取り組む「一般社団法人 Arch to Hoop 沖縄」への参画、“好きなことを続けよう。スポーツを続けよう”をスローガンに女子スポーツ継続に取り組む「Keep Playing」の活動に加え、既存製品の材料を見直し、環境負荷への対策に取り組んでいます。

■ 株式会社モルテン 会社概要

競技用ボールと自動車部品の製造・販売に始まり、内部の空気圧を調整する「中空体技術」と、ゴム・樹脂などの高分子素材を扱う「高分子化学」の 2 つのコア技術を活用して事業を拡大してきました。現在では、競技用ボールをはじめとするスポーツ用品事業や自動車部品事業のほか、医療・福祉機器事業では、製品開発と学術研究の両面から社会貢献を担い、マリン・産業用品事業では、浮桟橋や橋梁用ゴム支 承のほか社会基盤を構成する要素を製造・販売するなど、様々な分野で可能性を追究し続けています。

所 在 地：広島県広島市西区観音新町四丁目 10-97-21

設 立：1958 年 11 月 1 日

代 表 者：代表取締役社長 最高経営責任者 民秋清史

資 本 金：3 億 1,614 万円

従 業 員：674 人（単体）、3,100 人（海外を含むグループ全体）（2025 年 9 月時点）

社名由来：molten とは melt の過去分詞で、"溶解する、鑄造する"という意味に加えて、"古いものから新しいものに脱皮する"という意味を持っています。

U R L：<https://www.molten.co.jp/>

お問い合わせ先

株式会社モルテン 広報室

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21

E-MAIL: molten_pr@molten.co.jp